

取組方針

国や地方では、依然、厳しい財政状況が続いており、社会資本整備の推進にあたっては、限られた財源で最大限の効果を発揮させる必要があるため、引き続き、「選択と集中」を基本とし、事業実施箇所の重点化、コスト縮減、及び複数事業間の連携等を図るなど、より効果的・効率的に取り組んでいきます。

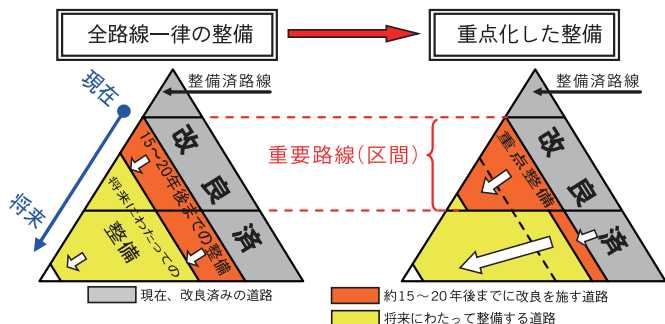
重点化

限られた予算で、最大の効果をより早く出すため、効果のより大きな箇所、緊急性の高い箇所等に絞り込み、箇所の厳選・重点化に取り組みます。

最適最小ネットワークによる優先整備（道路・街路）

「県都60・圏域内30アクセスプラン関連道路」、「緊急輸送道路」、「市町村合併支援道路」の3つ視点で180路線を選定し、重点的に整備します。

●路線の重点化による整備のイメージ



コスト縮減

国の「公共事業コスト構造改善プログラム」に沿った施策を継続し、工事コストの縮減に加え、用地・補償の円滑化、公共施設の長寿命化、公共事業における省資源化及び環境問題など、様々な施策を展開します。

1.5車線の整備手法の導入

従来の2車線整備にこだわらず、交通量や沿道状況、地形などから判断し、1車線で整備する区間、待避所設置など局部的改良を実施していく区間の組み合わせにより整備を行う1.5車線の整備を推進し、建設コストの削減や、早期完成による整備効果の早期発現を目指します。

整備前



整備後



一般県道網代鳥越線(愛南町)

県民との連携・協働

県民が誇りと愛着を持てる地域社会づくりを進めるためには、県民の参加と合意が不可欠であり、必要な情報等の提供に努める他、県民が社会活動へ積極的に参加できる環境づくりを進めます。

公共土木施設愛護事業(愛リバー・愛ビーチ・愛ロード制度)

県が管理する河川・海岸・道路の清掃美化活動を自発的に行うボランティア団体等に対し、作業用具の貸与、ゴミ運搬車両の借り上げ等の支援を行い、県民と行政とのパートナーシップを基本に美しい地域環境を創り出していきます。



東予港海岸(西条市)

事業間の連携

各事業間ではもとより、他所管事業との連携も進め、より効果的で効率的な整備を進めます。

事業の連携

河川事業(国)、道路事業(県)及び土地区画整理事業(市)の各事業の連携により、宅地嵩上げ方式による改修を実施し、早期に浸水被害を解消するとともに、安心して安全な道路環境、快適な住環境の整備を図ります。



肱川水防災、大和橋、上老松地区(大洲市)

リサイクルの推進

自然環境の保全やリサイクルの推進に取り組むとともに、森林の保全のための公共事業への間伐材の積極的利用を進める等、自然環境や県民にやさしい施策を展開します。

間伐材の利用促進

間伐材等の木材利用は、健全な森林の保全、中山間地域の活性化、資源の有効活用、CO₂の削減効果など、様々な効果が期待されており、砂防堰堤等の残置型枠や山腹工などへの積極的な活用を図ります。



医王寺川(今治市)

社会インフラの長寿命化・老朽化対策

社会インフラの老朽化の進行に伴い、今後、維持管理・更新費用の増加が予想されるため、大規模な補修や更新が必要となる前に、予防的な補修を実施する長寿命化対策に取り組む、費用の縮減と平準化を図ることとしています。

長寿命化計画

本県では、平成16年度に「公共土木施設維持管理システム」を構築し、平成18年度から、県民生活への影響が大きい道路橋の長寿命化に取り組んでいます。さらに、施設の老朽化は、今後急激に増加することから、水門・樋門、岸壁へと、順次施設を拡大することとしています。

主桁の損傷事例



更に損傷が進行すると



※国土交通省国土技術政策総合研究所「道路橋の定期点検に関する参考資料」より